

# 令和4年度 三木市における 全国学力・学習状況調査の結果



三木市教育委員会

令和4年4月、全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は、児童生徒の学力・学習状況を分析し、成果と課題を把握し、三木市の教育の改善を図ることを目的としています。

掲載している調査の内容は、学力や学習状況の一部であることを踏まえつつ、この結果を基に授業改善や家庭と学校との連携のあり方について考えるきっかけとして活用し、これからの時代に求められる資質・能力の育成を図っていききたいと考えています。

## 小学校の結果

### 国語

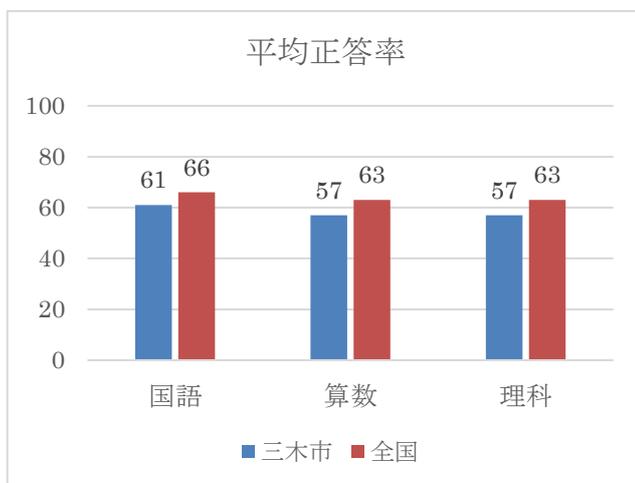
- ◎文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。
- △互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。

### 算数

- ◎表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる。
- △百分率で表された割合を分数で表すことができる。

### 理科

- ◎昆虫の体のつくりを理解している
- △予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。



- 基礎的な知識やスキルに比べ、思考力・判断力・表現力を問う問題において課題があります。
- 選択式の問題は解答率が高いが、記述式の問題は無回答率が高い傾向にあります。

## 中学校の結果

### 国語

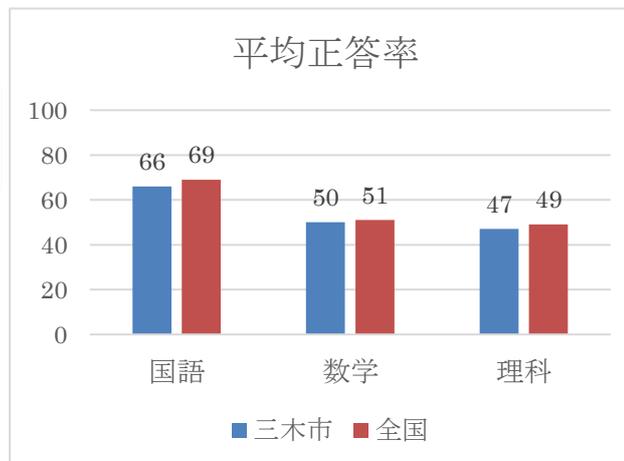
- ◎聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する
- △場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈する。

### 数学

- ◎自然数を素数の積で表すことができる。
- △結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる。

### 理科

- ◎力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できる。
- △未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できる。

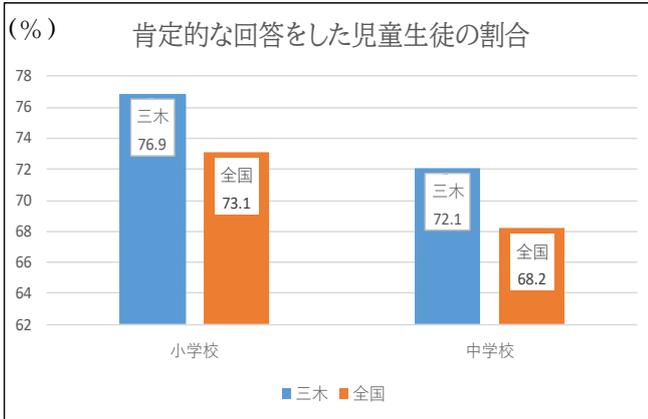


- 知識理解を問う問題については全国とほぼ同レベルであるが、思考力・判断力・表現力を問う問題においては各教科課題があります。
- 短答式の問題は全国よりも回答率が高いが、記述式の問題は全国を下回っており課題があります。

◎：成果(身につけている力) △：課題(身につけたい力)

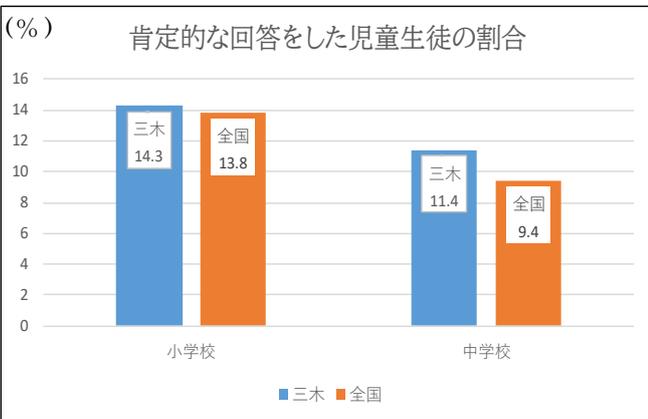
# 質問紙調査の結果から見える三木市の子どもたちの良いところ

## ○「読書は好きですか。」

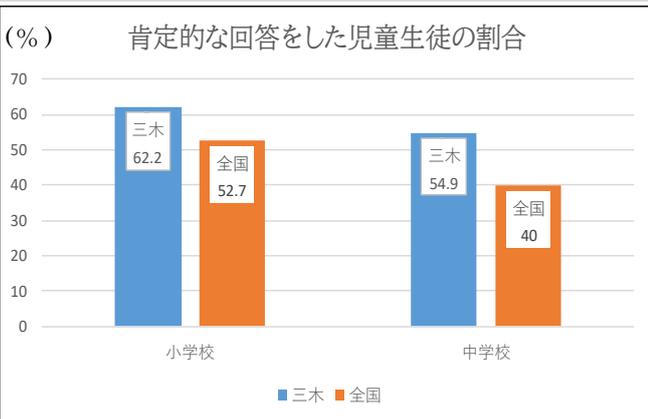


「読書が好き」と答えた児童生徒は、全国と比べて多い傾向にあります。また、「新聞を読んでいる」と答えた生徒は全国と比べて多い傾向にあります。読書をしたり新聞を読んだりすることで、知識や情報を得て、様々な考えに触れることができます。授業では読書で得た知識などを探究的な学習に生かします。

## ○新聞を読んでいますか。

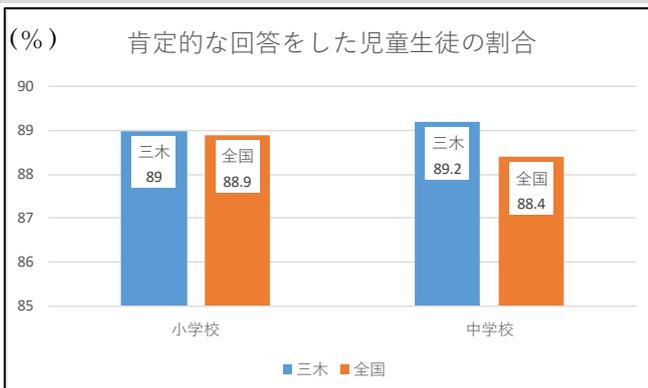


## ○今住んでいる地域の行事に参加していますか。



今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒が多い傾向にあります。これらのことを生かし、地域で子どもたちが体験的に学ぶ機会を充実させていきます。

## ○人が困っているときは、進んで助けていますか。



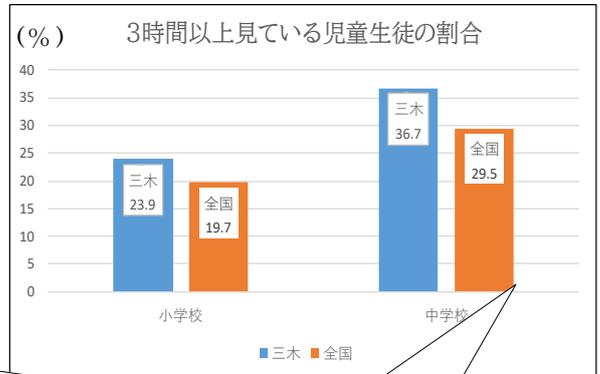
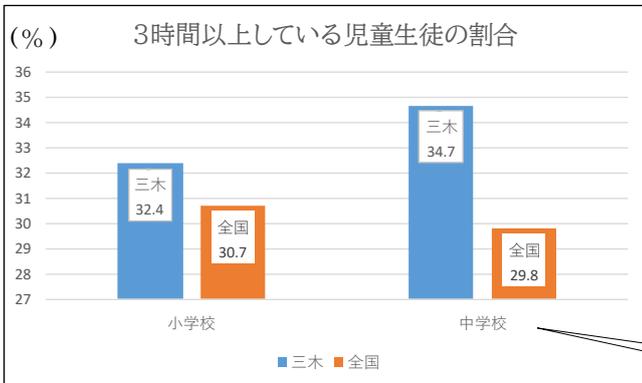
「人が困っているとき、進んで助けている」と肯定的に答えた児童生徒が多くいます。さらに人権教育を推進し、人を思いやる心を育みます。学習活動では、相手の立場や意見を尊重し、協働的に学習を進めます。

# 三木市の子どもたちのスマホ・タブレット使用状況

(質問紙調査の結果より)

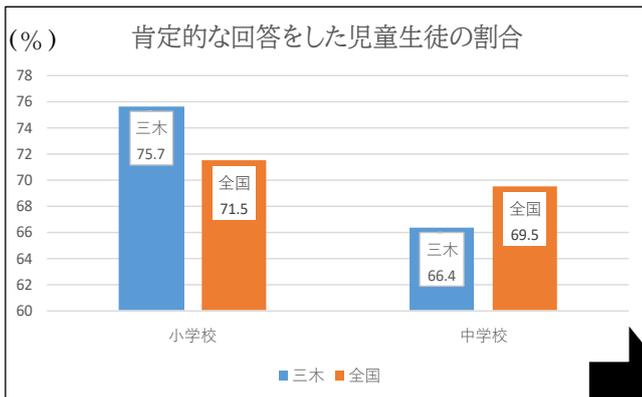
普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。

普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間は除く。)



携帯電話スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

家庭においてゲームをする時間や動画視聴をする時間は全国と比べとても多い傾向にあります



中学校では、課題が見られる結果でした。スマホやタブレットを、際限なく使用してしまう原因となります。

**学校では、ICT(タブレット等)を学習道具として有効に活用する方法を指導します。また、スマホやタブレットは便利な反面、使い方を間違えると危険が潜んでいることを教えます。**

**各家庭におかれましては、使用する際の約束事や注意点をしっかり話し合い、正しい使い方ができるように協力をお願いします。**

## 三木市の教育は

「教わる」から「学ぶ」へ学び方のスタイルを変えていきます

★ 一人一人の興味や学力に合わせた学びを進めます。

★ 仲間や様々な人の考えを取り入れ、よりよい学びを生み出します。

★ タブレットを活用したドリル型教材など

★ 話し合い、意見発表、共同制作など

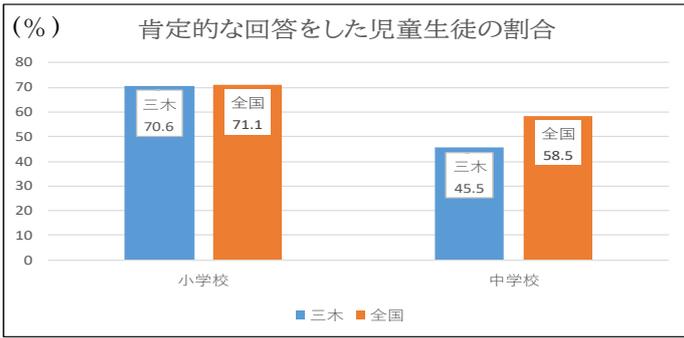
★ タブレットを活用した調べ学習などの探求型学習など

★ 三木市の資源を活用した体験的学習など

# 三木市の子どもたちの家庭学習の取組状況

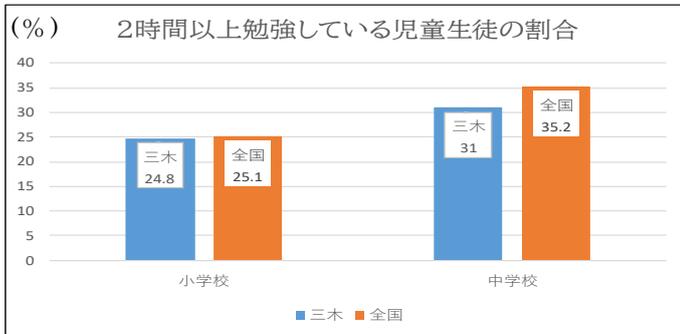
(質問紙調査の結果より)

## 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

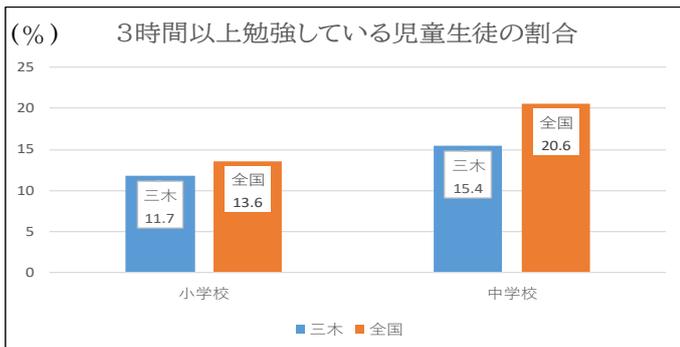


小中学校ともに全国比よりも低く、中学校においては大きな課題と考えられます。

学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。)



土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。)



## 家庭と連携し、学習の見通しを自分でつくる 自律的な学び「みっさいすてっぷ」



自分にあった学習方法をお子様と一緒に考えていただけるものになっています。

自分の能力や興味・関心に合った学習方法を考えて、「学びのスタイル」を作り、実践することをめざします。

平日・土日いずれも全国比よりも低い結果でした。学習習慣の定着が課題と考えられます。

### 学習習慣の定着のために

相談にのったり、励ましたり、将来の夢や目標を話題にするなど、保護者の方の「見守っているよ」というメッセージが、お子さまの学習意欲につながります。

## 三木市がめざす子どもたちにつけたい3つの力

**主体性**

自ら考えて行動する力

**協働性**

協力合って成し遂げる力

**創造力**

新たな価値を創り出す力

自分のやりたいことを自分で見つけ、それを実現するために探求していく力を育みます。